

第1章 結婚サポート総合戦略策定の趣旨

1 結婚サポート総合戦略策定の目的

日本全体で大きな問題となっている少子化による人口減少は、本市においても例外ではなく、本市の人口は、平成22年をピークに減少に転じ、今後もこの傾向が続くことが予測されています。地方経済の成長が鈍化し、様々な格差が生じている中、人口減少対策は本市においても重要課題となっています。

平成27年の国勢調査では、本市の25歳から39歳までの未婚率は、男性が46.6%で2人に1人が未婚であり、女性は32.3%で3人のうち1人が未婚となっています。結婚を希望する男女が、理想とする相手と巡り会い、地域社会の一員として持続的な地域社会を形成していくことが求められていますが、本市においても未婚化、晩婚化が進んでおり、少子化の要因の一つと考えられています。

このような中、本市は、人口減少問題に対応し地方創生を成し遂げるため、平成27年3月に、「那須塩原市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、地方創生に関わる様々な取組や検討を進めています。

これを踏まえ、「那須塩原市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の掲げる4つの基本目標を達成するための重点施策の一つである、「結婚」（出会いから結婚までのサポート）について、統一的な方向性の下、結婚支援施策を効果的かつ効率的に実施するために「那須塩原市結婚サポート総合戦略（以下「本戦略」という。）」を策定するものです。

これまで行政があまり関わってこなかった結婚支援を総合的かつ積極的に進めていくことで、結婚を希望する未婚の男女が、明るく、夢のある将来像を描きながら、理想とする相手と巡り会い、結婚して家庭を築いて地域社会の担い手として活躍していくことが期待されます。さらに、少子化対策、人口減少対策の促進が図られ、ひいては本市の活力向上につながることを期待されます。

◎那須塩原市まち・ひと・しごと創生総合戦略

【4つの基本目標】

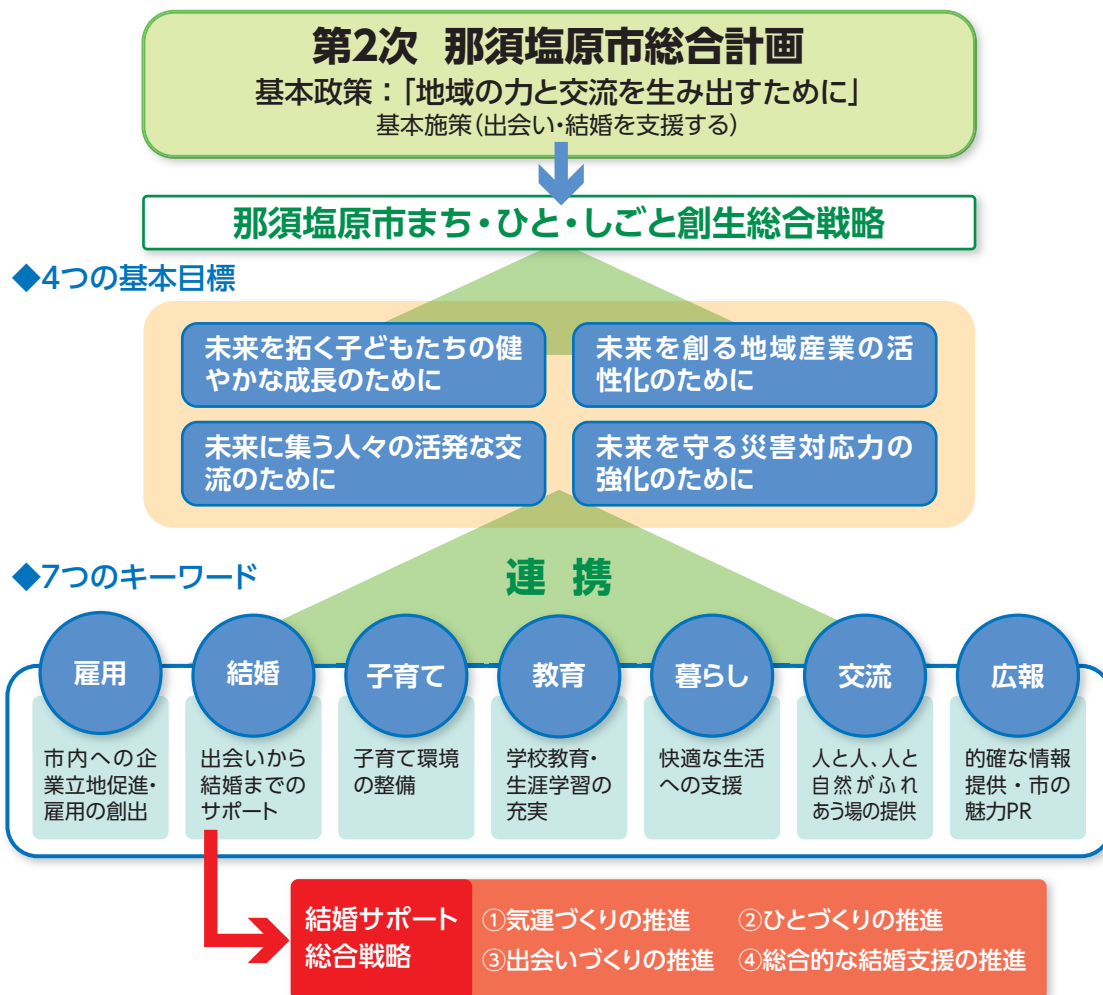
- ①未来を拓く子どもたちの健やかな成長のために
- ②未来を創る地域産業の活性化のために
- ③未来に集う人々の活発な交流のために
- ④未来を守る災害対応力の強化のために

2 結婚サポート総合戦略の位置付

本戦略は、「那須塩原市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げられている「結婚」について、統一的な方向性の下に結婚支援策を実施していくための個別計画として策定するものです。

本戦略は、結婚における重点施策の方向性とそれを受けた施策を明らかにし、本市における結婚支援策を総合的かつ計画的に実行するための戦略であり、結婚支援策が効果的かつ効率的に推進されることが「第2次那須塩原市総合計画」の基本政策の一つである「地域の力と交流を生み出すために」の実現へとつながります。

【結婚サポート総合戦略の位置付】



3 計画の期間

本戦略は、平成29年度から平成33年度までの5年間の計画とします。